

2021 年度環境保全計画書

関西エアポート神戸株式会社

① 環境保全に関する基本方針

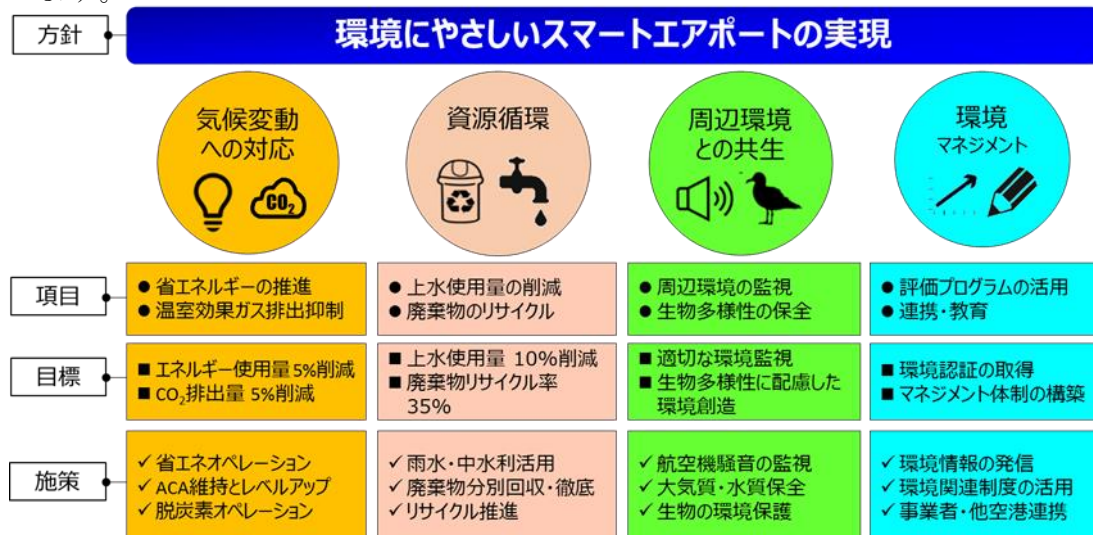
地域及び地球規模での環境問題について、関西エアポートは、地域社会及び地域のみなさまに対し、大きな責任を担っていると考えています。関西三空港の運営会社として、周辺地域、周辺生態系、気候への影響を最小限に留めた事業活動に取り組むとともに、地域社会と共生した空港の発展をめざします。また、当社は、人類にとって気候変動が最大の脅威と認識しています。19 世紀以降、世界平均気温は既に 1 度上昇し、急速に上昇し続けています。2015 年 12 月に気候変動枠組条約締約国会議(COP21)にて合意されました「パリ協定」に記載される環境目標の実現に向けた様々な温室効果ガス低減への取り組みを進めていくことが非常に大切です。

当社では、空港施設のエネルギー使用の効率化を進めるとともに、省エネルギーによる温室効果ガス排出量の低減に向けた建物施設の断熱や日射対策の向上、クールビズの導入などに取り組んでいます。また、空港内事業者、官公庁などのご協力のもと、エネルギー消費量の削減に向けた環境活動に取り組むとともに、空港内で使用するエネルギーに再生可能エネルギーを取り入れるための更なるクリーン発電設備の導入をめざしてまいります。

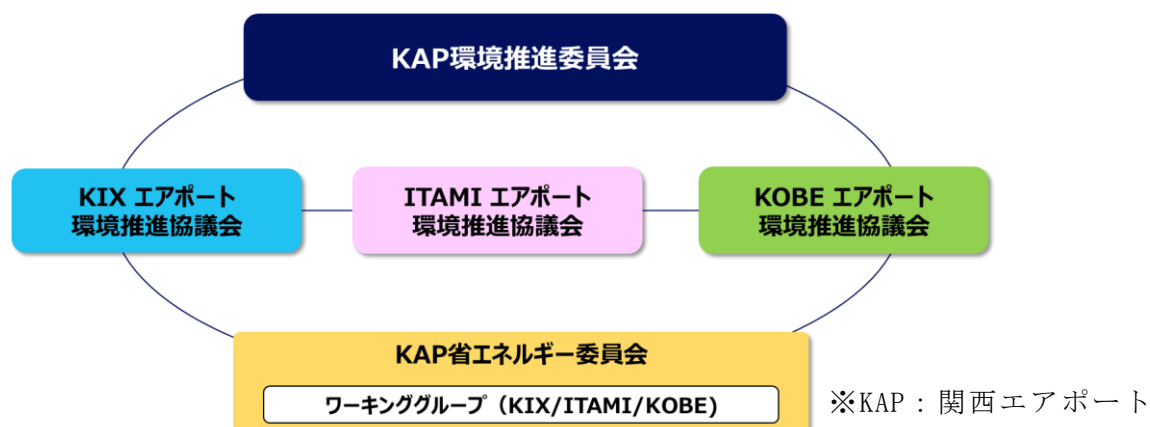
当社は、地域と共生し快適な環境を守る空港として、廃棄物や排水の処理を適切に実施し、厳格に管理していくことで環境への負荷を軽減してまいります。地方自治体、官公庁、航空会社などの空港内事業者の皆様と協力しながら、3R 活動（削減、再使用、再生利用）を推し進め、空港内及び周辺水域の生物多様性に配慮した生物生息空間の創造に取り組めます。そして、クリーンエネルギーの利用を促進するため、水素エネルギーの利活用を積極的に推進してまいります。

環境に配慮した空港として発展していくことが、関西地域の発展に貢献するものと信じており、その活動をより一層促進していくため、2018 年度から 2022 年度までの環境 5 ヶ年計画を新たに策定いたしました。

本環境計画では、環境負荷低減に向けて以下の 4 つの柱を設定しており、それぞれの柱のもとに私たちの今後の取り組みの指標となる具体的な項目と目標、施策を定めています。



② 環境保全に関する組織の現況



③ 環境目標値及び取り組む環境保全活動

関西エアポート神戸株式会社では環境にやさしいスマートエアポートの実現に向けて、2021年度は以下の施策に取り組んでいきます。

A) 気候変動への対応

<目標>

- ・エネルギー使用量 対2019年度比2%削減
- ・CO₂排出量 対2019年度比2%削減

<取り組み内容>

- ・照明・空調運転の管理徹底
- ・エネルギー管理システムの導入検討

B) 資源循環

<目標>

- ・上水使用量 対2019年度比4%減
- ・廃棄物リサイクル率向上

<取り組み内容>

- ・再生水・雨水の利用の継続実施
- ・廃棄物の分別収集の徹底

C) 周辺環境との共生

<目標>

- ・適切な環境監視
- ・生物多様性に配慮した環境創造

<取り組み内容>

- ・航空機騒音の監視と公表
- ・ばい煙発生施設の適正管理

D) 環境マネジメント

<目標>

- ・環境認証の取得
- ・マネジメント体制の構築

<取り組み内容>

- ・ACA (Airport Carbon Accreditation) Level 4の取得
- ・事業者・他空港との連携

※コロナウイルスの影響による大幅な数値の変動がある場合は、数値の補正や指標の見直しを行う場合があります。